

## ①東京外かく環状道路（三郷南IC～高谷JCT）建設事業

受賞機関 国土交通省 関東地方整備局  
首都国道事務所  
東日本高速道路株式会社関東支社  
千葉工事事務所、さいたま工事事務所

**キーワード** 広域道路ネットワーク形成、ストック効果、住環境への配慮

### 全建賞審査委員会の評価ポイント

都心部から伸びる放射道路を相互に連絡する東京外かく環状道路（三郷南IC～高谷JCT）の建設事業。

首都圏の渋滞緩和に大きな役割を果たすプロジェクトであり、沿線の生活道路の環境改善や防災対策、物流等の企業の活性化などの面で大きな効果を発揮している点や、住環境に配慮した計画への見直しを行い、地域の理解醸成を図りながら完成させた点が評価された。

### 1. はじめに

東京外かく環状道路（以下「外環」）は、東京都心から半径約15kmに位置し、供用中及び事業中、調査中の区間を合わせて延長約85kmの路線である。都心から放射状に伸びる高速道路等を相互に連絡し、東京都心に集中している通過交通を都心の外側に迂回させることで交通混雑を緩和すること等を目的とした環状道路である。

このうち、外環の三郷南IC（埼玉県三郷市）から高谷JCT（千葉県市川市）までの15.5kmが平成30年6月2日に開通した。

### 2. 事業の概要

当区間は、当初、高速道路部を高架構造として都市計画が決定されたが、住宅の密集地を通過し交通公害によって生活環境が破壊されること等を理由に事業は一時凍結した。そのため、路線の役割や地域の声を踏まえ半地下構造（掘割スリット構造）に都市計画変更を行った。また地上部には、環境施設帯を設置することで植樹帯や遮音壁により沿道の環境に配慮した計画の見直しを行った。



外環（松戸から市川方面を望む）

### 3. 事業の成果

当区間が開通したことで、埼玉・千葉間（東北道⇄東関東道）の交通は、都心（首都高）を経由していた車の約8割が外環道へ転換し、中央環状内側の首都高（中央環状含む）の渋滞損失時間が約3割減少した。また、東京都心を経由せず埼玉と千葉がつながり、時間短縮を実現したことで、バスを運行している会社では、増便が可能になるなど企業の生産性向上に寄与している。

一般道の交通状況は、市川・松戸市内の主要な一般道路の交通量が約1割減少、渋滞損失が約2割減少した。開通前に渋滞をしていた県道市川松戸線においても、通過時間が最大で約4割短縮し、市川市内の生活道路では、急ブレーキ回数が約5割減少するなど、快適性や安全性の向上が図られている。



外環（完成した松戸市小塚山付近）

### 4. おわりに

外環の計画、設計、用地、工事等といった事業が進めてこられたのも、地域の方々のご理解とご協力、県や市川市、松戸市そして促進団体の方々のご尽力の賜物であることはもちろん、延べ300万人以上にも及ぶ設計や工事関係者、用地交渉や地元調整・協議等に取り組んできた諸先輩方のたゆまぬ努力の積み重ねがあったからであり、心より感謝申し上げます。

今後、外環という道路インフラ、公共空間を十分活用し、地域がより魅力ある地域に飛躍していくために、引き続き皆様のお力添えの程、よろしくお願い申し上げます。

賛助会員 (株)大林組、(株)奥村組、鹿島建設(株)、世紀東急工業(株)、大成建設(株)、大日本コンサルタント(株)、(株)福山コンサルタント、(株)不動テトラ、前田建設工業(株)、(株)横河ブリッジ